

BIOMIMETICS

バイオミメティクス・市民セミナー

魚津吉弘 (三菱レイヨン(株) リサーチフェロー)

モスアイフィルムの 意外な可能性

2014年4月5日 (土)

会場：北海道大学総合博物館 / 知の交流コーナー

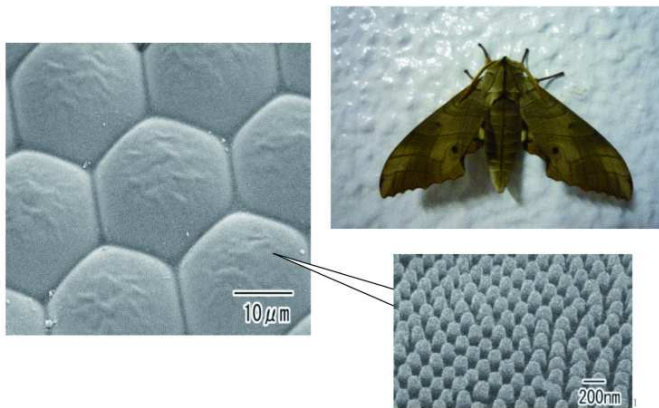
時間：午後1時30分から午後3時30分



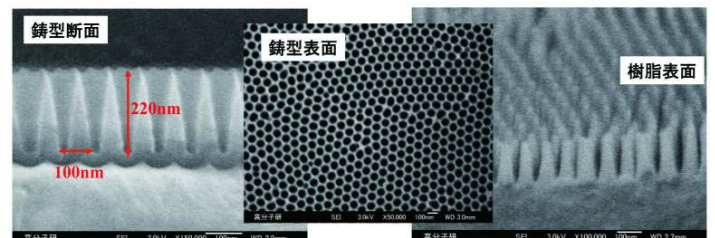
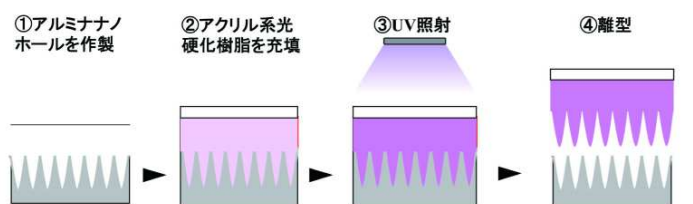
モスアイ形状は100nm程度のナノパイル構造からなり、理想的な反射防止性能を有しているため、蛾の目を模倣したバイオミメティクス材料の代表例とされています。

その構造は反射防止だけでなく超撥水や超親水性能を発現します。研究を進めていく中で、昆虫類がその表面に付着する

ことができないことも確認されてきました。この特性は害虫のコントロール技術への適用が考えられ、農業分野・建築分野への展開も期待されています。

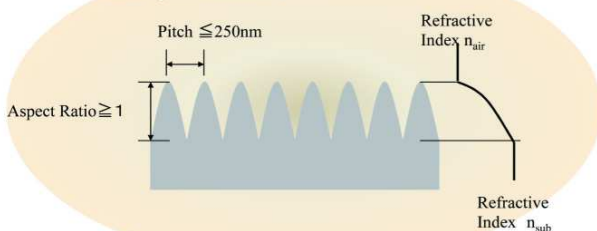


蛾の目の表面構造



モスアイの反射防止フィルム作製プロセスの模式図

【Moth-eye Structure】



狙いのモスアイ構造

主催：北海道大学総合博物館
共催：科学研究費 新学術領域「生物規範工学」
高分子学会北海道支部
北海道大学総合博物館
060-0810 札幌市北区北10条西8丁目
問合せ先：TEL. 011-706-2658 FAX. 011-706-4029
E-mail: museum-jimu@museum.hokudai.ac.jp